

中央大学 [現役学生が語る“大学力”]

自ら望む道を切り拓く 「行動する知性」を



1885(明治18)年の創設以来、社会で生きる学びである「実学」を重視してきた中央大学。現在は「行動する知性。-Knowledge into Action-」というユニバーシティメッセージを掲げ、伝統の実学教育を継承しながら時代に即した先進的な教育プログラムを実践しています。この特集では北海道出身の在学生6人に、中央大学の魅力について語り合っていました。

林 もともと国際協力や国際政治に興味があつて、中央大学法学部政治学科であればしつかり学べると思い選びました。学部を横断して実践的な課題に取り組む、中央大学独自のFLP(フアカルティリンクージ・プログラム)では、途上国の開発や貧困問題の解決法を探る「国際協力プログラム」に参加しました。FLPは他にも「ジャーナリズム」や「地域・公共マネジメント」などのプログラムがあり、新たな知見を得られると学生たちに大人気です。

富樫 私は、両親が中央大学卒業だったことが大きかったです。商学部で公認会計士の勉強をするか、法学部で法律を学んでから会計を学ぶか迷ったのですが、まずは法律を勉強しようと思ひ法学部を志望しました。

門馬 僕は道内にいたかったので(笑)、中央大学文学部は他専攻の授業も受講できて、日本史学専攻に在籍しながら心理学や教育学などさまざまな授業を受けられたので、選んでよかったと思っています。

田島 私は国際経営を学びたい、留学したいと思つていたら、ちょうど国際経営学部が新設されたので、一期生としてぜひ入りたいと思ひました。この学部が目指すのは、国際社会を舞台に活躍できるグローバルビジネスリーダーの育成です。

榎山 僕は、ずつと野球をやっていたので、学業と野球を両立するのにはふさわしい大学と考え、中央大学を選びました。

井平 僕も高校野球をやっていました。榎山くん同様、学業とスポーツを両立できる大学を目指して、先輩・後輩の関係性が素晴らしい中央大学を選びました。部の活動はもちろんですが、文学部での学びは思った以上に幅広く、学修面でも刺激的な毎日です。

榎山・井平 今は読売ジャイアンツで活

多様な学生の学びを支える 独自の教育プログラム

中央大学を志望した理由は？



文学部人文社会学科
日本史学専攻4年
門馬 凜さん
(北海道釧路湖陵高等学校出身)



法学部 政治学科4年
林 沙祐実さん
(札幌光星高等学校出身)

躍している鍵谷陽平先輩の姿に憧れていて、同じ道を進めるよう頑張りたいと思つています。

充実の設備、快適な環境で キャンパスライフを満喫

中央大学に入って良かったことは？

富樫 一番には総合大学で学生数が多いので、多くの人と交流できることです。私もたくさんの友だちができました。また、「法科の中央」と呼ばれるように法曹を目指す人への司法試験対策、公認会計士、公務員、教員などの資格取得にあたり、大学の強力なサポート体制や目標に向かって切磋琢磨し合える仲間がいるのも心強さを感じます。

林 校内には難関試験突破のための研究棟「炎の塔」があり、主に法曹や公認会計士志望の学生向けですが公務員志望向けの研究室もあります。私はその中の一つ、外交官試験突破を目指す「外交研究会」に所属していたのですが、そこでは勉強の他にも、先輩方から多彩な奨学金プログラムや留学のことなどいろいろ教えていただきました。

門馬 多摩キャンパスは緑豊かで都会過ぎないところが気に入っています。学業面では、教員免許や学芸員の資格を取得し、学芸員の博物館実習では動物園ではく製づくりなども体験しました。いくつもの資格を取得しましたが、僕の場合はそれを使うというより在学中に経験を積み、自身の可能性を広げるという目的で取得していました。

田島 国際経営学部は外国人の先生が多く、どの授業もほぼ英語で行うのでリスニング力が上がりました。チュートリアル授業は少人数制で、先生と学生、学生同士がディスカッションをするなどアクティブ・ラーニングを通じて専門知識を身に付けることができます。

榎山 野球部のグラウンドはキャンパスのすぐ隣にあるので、野球も勉強も集中できる環境であることが嬉しかったです。

学生の夢や目標を応援 進路選択を手厚くサポート

印象に残っている授業やゼミ、留学プログラムは？

林 主に東南アジアなどの途上国の政治や開発を学ぶ「国際政治経済学」というゼミです。3年次にカンボジアなどを訪れ現地の大学生と議論しました。途上国の現状をこの目で確かめられたことは強く印象に残っています。

富樫 「大学と社会」という授業では、大手ウェブサービス会社に転職した社員の方がゲストスピーカーとなり、ご自身の柔軟で豊かなライフプランについてお話しくださいました。私は資格を取ったらその職業に就くものだと思つていましたが、人生にはこんなにも多様な道があるのだと感銘を受けました。

田島 中央大学は海外の協定校が多く、国際交流も盛んです。今年の夏、私は留学プログラムを利用してカリフォルニアに短期留学しました。ホストファミリーはいい方で、とても楽しかったです。授業は自主的に動かないと進まず初めは戸惑いもありましたが、アメリカでの学びや生活は自分に合っていると思ひました。

卒業後の進路、大学の キャリアサポートは？

林 国内航空会社のCAとして内定が決まりました。子どもの頃からCAに憧れていて、高校時代にラオスに行ったことで国際協力にも興味湧いて国連



文学部 人文社会学科
国文学専攻1年
井平 光紀さん
(北海道高等学校出身)



文学部 人文社会学科
英語文学文化専攻1年
榎山 魁聖さん
(函館ラ・サール高等学校出身)

職員なども目指しましたが、CAへの夢はずつとどこかに持っていた気がします。就活の際には大学のキャリアカウンセラーにエントリーシートを何度も見ていただいたり、面接のアドバイスを受けたり全面的にサポートしていただきました。

門馬 道内で就職したい気持ちは4年間揺るがず、地元は釧路ですが札幌で探そうと思ひました。バイトがきっかけで食に興味を持ち食品関係の仕事に就きたいと大学に伝えたと、外部のUターン専門の就職センターを紹介してもらいました。内定先は、札幌の老舗菓子メーカーです。企業の志の高さやチャレンジング精神に感激してぜひ働きたいと思ひました。

自身の可能性を追求し 社会で生き抜く力を

最後に、北海道の高校生へ向けてメッセージを！

富樫 多摩キャンパスは自然豊かで北海道にどこか似ている立地も魅力です。ぜひ一緒に学びましょう！

田島 確かに(笑)のんびりしたところですが、自分がやりたいことを集中して取り組める環境が整っていると思ひます。

門馬 大学時代を振り返ると、勉強することは「目的」ではなく、自分の人生を豊かにするための「手段」だと改めて思ひます。興味のある授業はどんどん受けて学業以外の活動も楽しんで、自分の可能性を広げることが一番大事です。そのことは、きっとこの大学に入れば実感できるのではないかと思います。

林 私は就活でもどこへ行っても、中央大学の名は堂々と胸を張って言うことができました。「中央大学は、いい大学だよ」。これが、大学進学を目指す皆さんにぜひとも伝えたいメッセージです！

TOPIC 昨年の高校野球で大活躍！道内を沸かせた両エース！

中央大学硬式野球部の 期待の新人！

今年の東都大学野球秋季リーグ戦では、15年ぶりに完全優勝しました。優勝が決定した試合のマウンドに立つことができ、とても感激しました。競技者としても人間としても成長できるよう、様々なことに懸命に取り組みたいと思ひます。

榎山 魁聖さん(函館ラ・サール高等学校出身)



リーグ戦メンバーに加えていただき、貴重な経験ができました。北海道で学んだこと、中央大学で学んだこと一つ一つが僕の財産です。今後もより進歩できるよう頑張ります！

井平 光紀さん(北海道高等学校出身)

